

夏休み！子どものワクワクが止まらない！！

① 帝京科学の夏まつり at 帝京科学大学

- 日 時 7月20日(日) 9:00 ~ 12:00
- 場 所 帝京科学大学
- 参加者 北都留地区の小学生を中心に147名
- 内 容 帝京科学大学の学生が、それぞれの研究分野での学びを生かした21のプログラムを用意し、子どもたちを大いに楽しませてくれました！（プログラムの一例は以下のとおりです）
「夜のわくわく昆虫観察会(学外プログラム)」
「ちりもん、ゲットだぜ！」
「ふわ！ぷに？しゅわ!!わくわく工作パーク」
「金運UP！ヘビ皮お守りづくり」
「ぷにぷにスライムづくり」
「モルモットとふれあってみよう！」
「リクガメと触れ合ってみよう！」

- 感 想
「たくさんこうさくができたのでたのしかったです。トカゲとかさわれなかったものをさわりたいです。」（未就学児）
「学生さん達の対応がとても親切でわかりやすかったです。身近な自然に興味をもてました。」（小学生）
「みなさん親切でとてもわかりやすかったです。いきものことなど勉強になりました。楽しかったです。」（小学生）
「川遊びを真剣にすることができて良かったです。水辺の生き物をたくさん捕まえました。箱めがねのおかげで、水中を覗く楽しさを覚えました。」（保護者）



夜の観察会「とびこめ虫嵐！」



川遊び&水中生物観察



大学生がドジョウの生態を解説



繭玉工作。丁寧に教えてくれました！



色々な工作体験ができました！



毎年人気のスライム作り



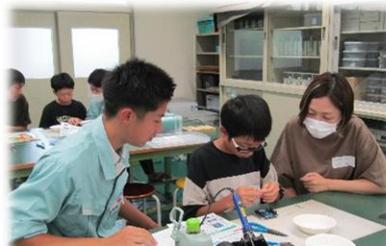
動物とも触れ合える貴重な機会



「上手にできているね！」

② 親子カルチャー教室 at 富士北稜高校

- 日 時 7月27日(日) 9:00 ~ 12:00
- 場 所 富士北稜高校
- 参加者 南都留地区(都留市、西桂町、道志村を除く)の小学4~6年生26名とその保護者



ミニ先生とお母さんに見られて緊張



「エクセルは使える？」「うん！」

○内 容 40名の高校生がミニ先生として、高校での学習を生かし、子どもたちを楽しませるプログラムを実施してくれました！実施した項目は以下のとおりです。【 】…担当系列

- ①SDGsに挑戦！端切れで作るコインポーチ【福祉健康】
- ②画面でアイスクリームショップを体験しよう！世界で一つのオリジナルカレンダーを作ろう！【総合ビジネス】
- ③電子おみくじ貯金箱をつくろう！【電気情報】
- ④鋳物でオリジナル作品を作ろう！【機械テクノロジー】
- ⑤ウッドパズルづくりに挑戦！【建築デザイン】

○感 想

「ミニ先生たちがとても分かりやすく教えてくださいまして楽しく取り組みました。」（小学生）

「高校の先生はもちろん、ミニ先生が教えてくれたことで、新しい興味が広がりました！」（小学生）

「子どもとミシンを並べて作業したことがなかったので新鮮でした。ミニ先生も優しく教えてくださいまして安心して楽しく作業できました。」（保護者）

「高校生が小学生に優しく接してくださり、先生方だけでなく生徒さん達が明るく、全体的に穏やかな雰囲気がありとても良かったです。学校生活についても話しが伺え楽しく過ごせました。」

（保護者）



「手先が器用だね！上手だよ！」



「ここに糸を通すんだよ！」「できた！」



オリジナルの鋳物完成！みんないい笑顔



作品と修了証を持って記念撮影

③ 親子ふれあい体験教室 at 都留興譲館高校

○日 時 8月11日（月・祝）9:00～12:30

○場 所 都留興譲館高校

○参加者 南都留地区（都留市、西桂町、道志村）の小学4～6年生16名とその保護者

○内 容 高校生がミニ先生となり、授業で身につけた技術や技能を生かして、親子にもものづくりの楽しさを伝える体験教室です。詳細は以下のとおりです。【 】…担当学科

- ①燃料電池ミニバギーの製作【機械】
- ②デジタル時計の製作【電子】
- ③メタルプレートの製作【制御】
- ④アクセサリ製作&電子顕微鏡観察【環境】
- ⑤豆腐を作ろう【英語理数】

○感 想

「ミニ先生や高校の先生が楽しく、優しく教えてくださいまして楽しくできました。」（小学生）

「ミニ先生が丁寧に教えてくれ、実際に完成したバギーが塩水で動いて面白かった。」（小学生）

「小学生や保護者の方と色々話しながらできてものづくりも楽しかった。また、授業等で習ったことを教えられて良かったです。」（高校生）

「子供が夢中になってやっていた、ミニ先生が親身になって教えてくれた、達成感があったのかミニ先生と子供がハイタッチしていた姿が印象的でした。ありがとうございました。」（保護者）



燃料電池ミニバギー製作の様子



「このフォルダに保存してみよう！」



ハンダ付け200カ所以上！みんな今日一日でとても上手になりました！



「豆乳の匂いする？」「する！」



親子で先生の説明に聞き入っています

意見交換で本を深読み!!

チャレンジ! 上高アニメシオン

○日 時 8月6日(水) 10:00 ~ 11:30

○場 所 上野原高校 図書館

○参加者 北都留地区の中学生11名
上野原高校図書委員、生徒会役員、
昨年の参加者 計14名

○内 容

アニメシオンとはゲーム形式の読書会です。

- ① 事前に30ページほどの短編小説を読み内容を理解します。
- ② [ゲーム1] バラバラになった本文の一節やセリフを、友達と相談しながら正しい順番に並べ替えます。
- ③ [ゲーム2] 登場人物になりきった生徒が、他の登場人物やキャラクターからの質問に答えます。

○感 想

「他の中学校や上野原高校の生徒と仲良く話すことができたし、本の内容を深められたのでとても楽しかったです!」(中学生)

「上高のことを知れたり、先輩方が優しく接してくれたりしたことはもちろん、物語の情景を想像する楽しさに気づくことを学べたので、とてもいいイベントだと思いました。」(中学生)

「初めて参加したのですが、知らない人ともコミュニケーションを取ることで仲が深まったり、読書の新たな楽しみ方を知れたりしたのでとてもいい経験になりました!」(高校生)

「本の中の考え方や生き方などを参考にしたり、初めての人とも積極的に話したり、今回学んだことを今後の自分の人生に生かしていきたいと思います!」(高校生)



開講式 まだまだ緊張気味です



アイスブレイク。無言で誕生日順に並びます



「このシーンどこだっけ?」



すっかり打ち解けました!



各が登場人物やキャラクターに扮します



「羊子さんに質問です。なぜヒラタさんの姿を探したのですか?」

2つの空襲展

伝えよう戦争 つなげよう平和

第43回 吉田空襲展

○日 時 7月27日 29日 30日 9:00 ~

○場 所 富士吉田市民会館

○主 催 富士吉田市教職員組合 吉田空襲展実行委員会

○主な内容

- ・美川 秀子氏による特別講演「絵日記による学童疎開 600日の記録」
- ・各種展示(戦時品、南都留小中学校制作品など)
- ・親子映画会「まっ黒なお弁当」「ひめゆり」
- ・退女教の先生方による戦争や平和に関する読み聞かせ
- ・吉田空襲フィールドワーク(慰霊式含む)

○吉田児生連会長による平和宣言(一部)

「過去の積み重ねが今となり、今の積み重ねが未来となる。私たちはこのときにしかできないことを精一杯頑張り、自分たちの手で平和な社会をつくれるよう毎日努力を積み重ねていくことを誓う。」



平和に関するメッセージの展示



展示品を見学する参加者

○フィールドワークに参加した児童生徒の感想

「今まで知らなかった戦争の跡地が近くにあることを知り、改めて平和や周りの方々に感謝の気持ちを持った。戦争は恐ろしいものであるが、今まで身近には感じなかった。戦争はこれからも起こりうることなんだと広げていきたい。」(中学生)「今年はフィールドワークに参加したことでいろいろなものを見ることができて、興味が持てた。慰霊碑があることも初めて知った。私は戦争の意味がまだわからない。今後、戦争と平和についてしっかり考えていきたい。」(小学生)



戦争遺跡のフィールドワーク



慰霊式の様子

第31回 大月空襲展

○日 時 8月9日(土) 9:00 ~ 18:00

10日(日) 9:00 ~ 11:00

○場 所 大月市民会館2階ギャラリーほか

○主 催 大月空襲 戦争と平和展実行委員会

○主な内容

- ・各種展示…年表、戦時品、手記、遺影、小中学校の平和教育に関する作品など
- ・朗読…退女教の先生方による読み聞かせ『おごりじぞう』『いもうと(手紙)』
- ・親子映画会…『ひめゆり』
- ・都留高生による電子紙芝居…『赤い指ぬき』『潰れたお弁当箱』『夏の記憶』

○感想

「戦争の残酷さを知りました。絶対戦争は起こしてはいけませんと思いました。」(小学生)

「上野原市出身ですが、大月空襲についてはよく知りませんでした。様々な展示や高校生の発表、退女教の先生方の読み聞かせなどで当時の様子を肌で感じることができたのでとてもよい機会となりました。ぜひ続けていただきたいです。」(来場者)「戦後80年の現在でも世界では争いが絶えません。今回の発表に向けて空襲の内容を吟味すればするほど、ますます戦争の悲惨さを感じたので、聴いている人に少しで思いが伝わるよう気持ちを込めて発表しました。」(都留高校放送部)「今回の発表を通じて、同年代の若者が犠牲になるなど、大月空襲の悲惨をお伝えすることで、平和の尊さを改めて感じることができました。」(都留高校放送部)



展示室の様子



都留高校放送部による発表



展示品の解説を聴く来場者



退女教の先生方による朗読

各自治体の地域教育関連事業

1. 小菅村「こども食堂」

○日 時 8月19日(火) 12:00 ~

○場 所 小菅村中央公民館 2F キッチンスタジオ

○主催者 小菅村食生活改善推進員会

○参加者 小菅村の小中学生12名ほか

○内 容

- ・長期休業中にも継続して栄養バランスのとれた食事を子どもたちに提供するために実施
- ・本日は夏休みに4回実施されたうちの最終日
- ・食生活改善推進員と役場担当者が調理を担当

普段は塩分摂取量調査などを行っている食生活改善推進員の方々が、役場と協働して、こども食堂の運営に当たっています。皆さんが行っているのは食事の提供だけでなく、村民の交流の場の提供でもあったと感じました！食改の皆様方に感謝です！



会場の様子



子どもたちもお手伝い



[本日のメニュー] チャーハン、照り焼きチキン、卵スープ、あんみつ



みんなで記念撮影！

2. 小菅村「小菅人を育む会 学校に泊まろう！」

○日 時 8月23日(土) 14:00 ~ 24日(日) 9:00

○場 所 小菅小学校ほか

○主催者 小菅人を育む会

○参加者 園児6名、小学生20名、中学生9名 計35名

○内 容

- ・宿泊については、小学校の校庭に設置されたテント(希望者)と校舎内に分かれて行われました。
- ・子どもたちが楽しめるイベントが盛りだくさんでした！
 - ① 魚のつかみ取り…プールに放たれたヤマメを捕まえ、自分たちで捌き、塩焼きでおいしく頂きました。
 - ② 夕食のカレー作りと簡易飯盒炊爨…子どもたちは野菜を切りました。また、地域おこし協力隊の尾崎さんが空き缶での簡易飯盒炊爨を教えてくださいました。
 - ③ 夜のイベント…校庭での花火大会、中学校の校舎での肝試し、そして虫集めと子どもたちの笑顔と絶叫いっぱい夜となりました。
- ・準備から運営まで支えてくださったのは、20~60歳代の住民で構成される「小菅人を育む会」の皆さん。地域の力で子どもたちに素晴らしい体験を届けてくださいました！

○感 想

「滅多にやらないきもだめしがあり、怖かったけれど思い出に残りました。」(小学生) 「学校に泊まるという貴重な経験もでき、村の色々な人と交流できたのですごく楽しかった。」(中学生)

小菅村の大人たちが力を合わせて、子どもたちのために取り組む姿がとても印象的でした。こうした体験は、子どもたちの心に深く残り、大人になっても忘れることはないでしょう。親から子へ、子から孫へ——小菅村を思う気持ちが、世代を超えて受け継がれていく。これぞ地域教育の力です！

校庭に設置されたテント(左) 校舎内の宿泊の様子(右) レアですね！



「動きが速くて掴めな〜い💦」



園児も包丁で野菜を切りました！



「空き缶でお米が炊けるのかな？」



大勢でする花火は楽しさ倍増！



虫集めの様子



スイカ割りも！「もっと右、そこ！」



肝試し後の記念撮影！あまりにも怖すぎて、泣きそうな子もいたとか？

3. 富士河口湖町 多文化共生交流事業 「世界のともだちフェスタ」

○日 時 8月1日(金) 10:00 ~ 11:30

○場 所 勝山さくやホール

○主 催 富士河口湖町

○運 営 ふじやま国際学院

○内 容

- ・ふじやま国際学院の留学生(ネパール、アメリカ、ポーランド、タイ、ミャンマー、フィリピン、ベトナム)と町内の小学生の交流会。
- ・参加者は小1~小3の児童18名とその保護者。
- ・新聞島ゲームやじゃんけん列車、ダンスなど留学生と小学生と一緒に楽しみました。

○参加した小学生の感想

「一緒にやった新聞島ゲームが楽しかった。こんなにたくさんの方の国の人がいることを初めて知った。町の中で会ったら話しかけてみたい。」(小学3年生)

○留学生の感想

「子どもたちがとても元気で私も元気になった。このようなふれあいの機会がたくさんあればうれしい。」



新聞島ゲームの様子



グループになり交流を図ります



参加した留学生のみなさん



積極的に会話を楽しむ子どもたち

4. 南都留地区ジュニアリーダー体験教室

- 日 時 7月31日(木) 9:00 ~ 15:30
- 場 所 道志村フィッシングセンター
みなもと体験館
- 主催者 南都留地区社会教育担当者会
- 参加者 南都留地区の小学生40名
- 内 容



雄大な自然の中で魚釣り



「釣れたよ！」



初めて魚を捌きます ドキドキ！



みんなで協力してのうどん作り



昼食は「流しうどん」



午後は班ごとに工作教室

毎年異なるプログラムで実施されている体験活動。今年は「道志村フィッシングセンター」での魚釣りに加え、「みなもと体験館」でのうどん打ちや箸作りなど、ものづくり体験を行いました。自然の中での体験を通じて、子どもたちは楽しみながら学びを深めることができました。

○感想

「他の小学校の知らない子とコミュニケーションがとれるか心配していたけど、色々な活動を一緒にすることですごく仲良くなれたので、このイベントに参加してよかったです。」(小学生)「魚をさばくのは初めてだったけど、うまくできてよかった。自分でさばいた魚を食べたけどすごくおいしかった！」(小学生)「子どもたちが色々な地区の子どもたちと楽しそうに活動している様子を見てと

ても嬉しくなりました。準備は大変でしたが苦勞が報われました。これからも子どもたちの笑顔のためにできることを頑張っていきたいです！」(運営担当者)

5. 大月市立図書館 「図書館に泊まろう！」

- 日 時 8月2日(土) 19:00 ~ 3日(日) 8:00
- 場 所 大月市立図書館
- 主催者 大月市教育委員会、大月市立図書館
- 参加者 市内在住の5家族
- 内 容

- ・泊まる場所はクジで決めました。一番人気は本に囲まれている特別スペース？
- ・親子でそれぞれ読みたい本を借りて、布団の上でリラックスして読書を楽しみました。
- ・普段は立ち入ることができない閉架書庫など、図書館の施設について係の方から詳しい説明がありました。
- ・午後9時には希望者(全員！)がかがり火祭りのフィナーレを飾る打ち上げ花火を楽しみました！

○感想

「いろいろな本に出会えてたくさん読めてすごかったのしかったです。」(児童)「ちかしのたいけんやおくじょうへいってのはな火を見たことがたのしかったです。」(児童)「子どもと一緒に本を読み楽しい時間を過ごすことができたこと、普段入れない所を見られたこと、図書館がどうい場所なのか詳しい説明していただいたことなど、親子でとてもよい学びができました。ありがとうございました。」(保護者)



図書館に布団、レアな体験です



多くの本に囲まれて読書、最高！



親子のスキンシップもバッチリ！



地下の閉架書庫を特別に見学



集密書架の移動操作も体験



特等席での打ち上げ花火鑑賞

6. 大月市郷土資料館 「平和教育の出前授業」

○日 時 7月8日(火) 10:45 ~ 12:45

○対 象 猿橋小学校6年生 48名

○講 師 加納 健司 先生(元大月市教育長)
深澤 眞 先生(大月市郷土資料館館長)

○内 容

・加納先生からは太平洋戦争の概要や、大月空襲の詳細についてのお話がありました。先生ご自身も国民学校4年生の時に空襲を体験されており、当時の悲惨な状況を、体験者ならではの言葉で語ってくださいました。

・深澤先生からは、大月空襲に関する戦争遺跡や平和祈願の石についてのお話があり、子どもたちに問いかけながら語りかける姿が印象的でした。また、爆弾の破片を持参し、子どもたちが実際に触れることで、戦争の実情を体感できる工夫もされていました。

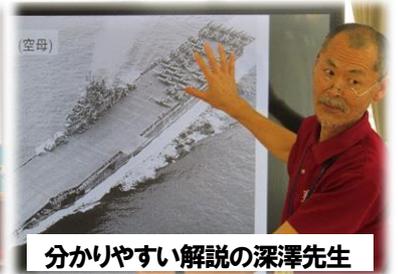
○感 想

「爆弾の破片を触ったことで、少しだけ実際の戦争で起こったことを感じることができました。絶対に戦争は起きてほしくないと思いました。」「加納先生や深澤先生のお話を聞いて、戦争の悲惨さを知ることができたので、平和を続けるために自分にできることをしていこうと思いました」

加納先生は90歳を目前にした今もお講演活動を続けており、この日も「平和を愛する心を育てていかなければならない！」という思いを込めて、1時間にわたり一度も腰掛けることなく子どもたちに語りかけてくださいました。また、深澤先生も戦争の悲惨さや平和の尊さをわかりやすく伝え、大月市内外で出前授業を通じて継続的に語り続けています。お二人の平和を希求する強い思いに心を揺さぶられる、素晴らしい出前授業でした。その思いは、子どもたちにしっかり届いたことと思います！



熱く語りかける加納先生



分かりやすい解説の深澤先生



出前授業の様子



当時の貴重な資料を提示



熱心に耳を傾ける児童たち



「こんなの飛んできたらやばい！」

7. 大月市英語体験活動

○日 時 8月7日(木)、8日(金)の2日間

○主催者 大月市教育委員会学校教育課(教育支援室)

○参加者 市内小学生8名、中学生11名、高校生9名他

○内 容

1日目…大月東小学校にて、オリエンテーションおよび縦割りのグループでシナリオづくり。また、国際交流会の方々、ALT、英語の先生方を相手に疑似体験学習。

2日目…午前中は再度疑似体験学習。午後は富士急行線に乗車し、大月～都留文科大学前駅間で、グループごとに外国人の方々と英語で交流。

○感 想

「外国人と話すとき少しきんちょうしたけど自分の英語を相手の人に上手く伝えることが出来てとてもうれしかったです。」(小学生)「自分の国と違う人と関わる楽しさを改めて感じる事ができ、もっとたくさん話そうことができるように、英語の勉強をがんばりたいと思いました。」(中学生)「外国人観光客の方々と話す時は、とても緊張しましたが、グループのみんなで相談しながらできたので、安心して話すことができました。会話が続きたい時はとてもうれしかったです。この活動を通して自分の課題を見つけることができ、とてもよい経験になりました。」(高校生)



シナリオづくりの様子



疑似体験学習の様子



「May I ask you a question?」



駅の構内でも交流しました！



小学生も頑張りました！



終わりの会での感想発表

8. 山梨県教育委員会 「青少年社会環境健全化推進キャンペーン」

○日 時 7月15日（火）13:30～15:30

○場 所 富士河口湖町、鳴沢村

○主 唱 山梨青少年社会環境健全化推進会議
山梨県青少年総合対策本部

○内 容

・毎年県内各地で実施されている青少年健全育成キャンペーンには、図書・娯楽施設、たばこ・酒類・薬品取扱業者、インターネット関連団体、教育委員会、山梨県警察本部などの行政機関の代表者が参加しています。

・参加者は6班に分かれ、地域の店舗を訪問し、自主規制の確認や協力をお願い、啓発物品の配付などの活動を行いました。

地域の方々の日々の取組が、青少年の健全育成に繋がっていることを実感できた、とても有意義な機会となりました。



娯楽施設での啓発活動の様子



自主規制の表示を確認する係員



娯楽施設での啓発活動の様子



活動後、各班からの報告で情報共有

北都留地域教育推進連絡協議会 芸術文化推進事業

高島千香先生による「歌唱指導講座」

アンサンブル・フェリーチェによる「ミニコンサート」 in 銘楽堂

○日 時 7月23日（月）11:00～12:00

○場 所 銘楽堂

○参加者 小学校の音楽担当の先生など20名

○講 師 高島 千香 先生

○演奏者 アカペラグループ

「アンサンブル・フェリーチェ」

○歌唱指導講座

・リラックスして歌いたくなる空気づくりのためのウォーミングアップの方法について

・簡単なカノンを歌って即席で合唱、みんなでハモる楽しさを味わう

・合唱をより魅力的にする演出の仕方

○ミニコンサート

・東京や神奈川で小学校の先生をしている女性アンサンブル

・仕事の合間を縫って練習した成果を発表

・「夏は来ぬ」「ロマンチストの豚」「涙そうそう」などアンコールを含め計7曲を披露

○参加者の感想

「山梨の名物を使って歌った活動は、音楽の授業の導入に使います！とても楽しかったです。」「すてきな歌声を間近で聴くことができ、夏休みのすてきな思い出になりました。お一人お一人の歌声がすてきでした！」



講師の高島千香先生



歌唱指導の様子



アンサンブル・フェリーチェの歌唱



美しい歌声に聴き入る参加者の皆さん



(左から)高島先生、佐野真由美さん、鷺澤沙貴さん、山浦歩さん、各和友香さん

ふじざくら支援学校 『30周年記念式典および芸術鑑賞会』

○日 時 6月24日（火） 9:25 ～ 11:40

○場 所 ふじざくら支援学校体育館

○内 容

- ・記念式典では、歴代の校長やPTA会長など多くの来賓が出席する中、厳かに式が執り行われました。
- ・芸術鑑賞会では、打楽器グループの「フラワービート」さんの素晴らしい演奏に児童生徒たちが思わず踊り出してしまうほどでした。また、校長先生を始めとした有志の先生方や同校のキャラクター“フジザックマン”もサプライズ登場し、切れのあるパフォーマンスで大いに子どもたちを大いに楽しませてくれました！

○児童生徒の感想

「教室に貼ってあったプログラムを毎日見て、『はい、よろこんで』を聴けるのを今日まで楽しみにしてきました。今日のフラワービートさんの演奏が素晴らしく、すごく楽しかったです。」（小学部生）
「フラワービートさんの演奏を聴くのは2回目だったのですが、すごく迫力があつたし、色々な工夫をしてみんなを笑顔にしてくれたのですごく楽しい時間を過ごせました。」（中学部生）



記念式典の様子



フラワービートの皆さん



台所用品での演奏は圧巻の一言



生徒の間近で演奏！



校長先生自ら盛り上げてくれました！



忘れられない1日となりました！

シオジ森の学校 サンショウウオ観察会 ～去年のリベンジ～

○日 時 6月28日（土）9:00 ～ 12:00

○場 所 シオジの森（大月市七保町瀬戸）

○参加者 家族17人、大学生3人、スタッフ3人

○講師 阿部 純 先生

（山梨県希少哺乳類調査会メンバー）

○内 容

- ・去年は悪天候により中止となりましたが、今年は天候に恵まれ、無事に実施されました。
- ・まず、阿部先生よりサンショウウオの種類や生態についての説明があり、その後、採集時の注意点やコツについてのお話がありました。
- ・各ご家族が川の中に入り、小さな水槽をめぐり代わりに使って水中を覗きながら、夢中になってサンショウウオを探していました。
- ・採集したサンショウウオは計測や観察を行い、その生態について理解を深めようと努めています。



採集の様子



阿部先生の話聞く参加者



採集したサンショウウオ

参加者が夢中になってサンショウウオを探す姿がとても印象的でした。人の心をここまで惹きつける、この小さな生き物の不思議な魅力を感じた一日となりました。

都留第一中学校『学校ウェディング&キャリア教育』

- 日 時 7月10日(水) 13:15 ~ 15:35
- 場 所 都の杜うぐいすホール
- 主催等 全日本ブライダル協会山梨県支部
都留市教育委員会、都留市商工会など
- 参 加 中学2年生48名

○内 容

- ・“結婚”に関連する様々な仕事を通して、生徒に自らのキャリア形成について考える機会を提供する校外授業でした。
- ・仕事の意義ややり甲斐などについて、実際にプロフェッショナルから学ぶことができる貴重な機会となりました。
- ・事前学習は、ブライダル協会の方を講師に迎え、「働くこと」についてお話しいただきました。その効果もあり、当日、生徒たちは非常に高いモチベーションを持って体験学習に積極的に参加していました！

○感 想

「実際に仕事を体験することで、イメージと違うこともあったりして、自分に適性があるかどうか分かりました。様々な職種を一度に体験でき、とても有意義な1日となりました！」「カメラマンとジュエリーの体験が面白かったです。今までは医療系の仕事に就くことを考えていましたが、世の中に色々な仕事があることを知れたので、今日の経験を将来の職業選択に生かしていきたいです！」



12の体験ブースと1つの展示案内



ゲーム形式でウェディングプランナーの仕事
を仮想体験しました



ウェディングケーキづくり体験



パールの穴開け体験



ライトやカメラで撮影隊体験



自動車の窓ガラス割り体験

地域をつなぐ幼保小連携・接続研修会 ～交流から接続へ～

- 日 時 8月8日(金) 14:00 ~ 16:30
- 場 所 都留文科大学
- 参加者 富士東部地域の幼児教育施設および小学校の先生方、教育行政の担当者など計74名

○主 旨

幼児が小学校入学時に、学校生活をスムーズにスタートできるよう、幼保小相互の教育理解、教育課題等を共有するため、実施された合同研修会。

○内 容

- ①やまなし幼児教育センターの秋田先生より、～「幼保小の架け橋プログラム」促進に向けて～をテーマに、本県の現状と課題についてお話しいただきました。
- ②先進事例として、山中湖村・富士吉田市・富士河口湖町の担当者より、各市町村の具体的な取組や課題等について実践発表がありました。
- ③地域や校種を考慮した8名程度のグループに分かれ、幼児教育施設や小学校の教育方針について意見交換を行ったり、架け橋プログラムを実施する上での課題など情報共有を行ったりしました。
- ④架け橋コーディネーターの山梨大学 大野 歩 教授より、本日の総括を含め、今後の研修会のあり方や行政を中心に関係者全員が同じ歩調でこのプログラムを進めていくことの意義などについてお話しいただきました。



研修会の様子



活発な意見交換が行われました



「遊びから学ぶことが大事ですね！」



大野 歩 山梨大学教授

○参加者の感想

「幼保小の連携の大切さは分かってはいたものの、具体的な活動例を聞くことができとても参考になりました。」「幼保小の連携はもちろんのこと、行政との連携や、行政間の連携も円滑に行われていくことで、子どもにとってよりよい『接続』ができるのだと思いました。」

小学校低学年での不登校の増加は、幼い子どもたちが学校生活の初期につまずきを感じていることを示しています。そのため、幼保小の円滑な“接続”は喫緊の課題であり、担当者だけでなく、組織全体で取り組む姿勢の共有と管理職のリーダーシップが求められます。また、教育委員会と福祉課などの垣根を越えた市町村の主導が、「架け橋プログラム」成功の鍵であると、研修会を通じて強く感じました。

大月短期大学 『公開授業』～スポーツでまちおこし！～

○日 時 7月11日（金）10:40 ～ 12:10

○場 所 大月短期大学 岩殿ホール

○講 師 佐々木 洋輔 氏

新潟産業大学専任講師・水球部コーチ
ブルボンウォーターポロクラブ柏崎強化部長

○内 容

・新潟県柏崎市の水球を介したまちおこしについて、活動の中心として活躍中の佐々木氏による講演でした。

・「公共政策入門C1」を履修している大学生と地元地域の希望者の方々が聴講しました。

・①「水球とは？」 ②「水球のまち柏崎とは？」 ③「水球のまち柏崎と新潟産業大学」の3本立てでお話いただきました。①はクイズ形式で行われたため、水球になじみのない人にとってもとても分かりやすい解説でした。②ではスポンサー（株式会社ブルボンなど）の獲得に奔走したお話、また、クラブが町に与える経済効果について、データを用いて説得力のある説明が行われました。③では、新潟産業大学の学生によるまちへの貢献（柏崎に就職・小学校交流事業・御神輿などのイベント参加ほか）についてお話がありました。



講師の佐々木 洋輔 先生



話に聞き入る聴講者



ノウハウを惜しみなく披露頂きました！ 質疑応答も活発に行われました！



○受講者の感想

「まちおこしに必要なヒト・モノ・カネが非常にうまく絡み合った例だと思えます。大月市でもスポーツで地域が活性化することを希望していますので、ぜひ参考にさせていただきたいと思えます。」（大月市関係者）「私の地元でもスポーツによる地域活性化の試みはありますが、問題が山積みで、なかなか効果を上げられていません。将来はこの問題の解決に従事したいと考えているので、今日のご講演は本当にためになりました。夢を実現したいです。」（大学生）

産・官・学が緊密に連携し、スポーツを通じて地域おこしを成し遂げている柏崎市の取組は、他の自治体にも大きな刺激となることでしょう！

上野原市 鄙（ひな）の会『中学生職場体験支援事業』

○期 間 7月19日（土）～ 8月26日（火）

○対 象 市内3中学校の2年生

○主 催

一般社団法人まちづくりプラットフォーム鄙の会
上野原市内各中学校の学校運営協議会（CS）



青苔寺での座禅と写経体験の様子。ご住職にマンツーマンでご指導いただきました！

○目的

地域の未来を担う人材の育成を目的として、学校の夏休み期間中に中学生が市内の職場を見学・体験する取組を実施しています。市内にあるさまざまな職場を実際に見て、働く人々の姿に触れることで、地元の仕事への理解を深めるとともに、将来の職業選択の一助となることを目指しています。

○内容

・中学校や高校で行われる職場体験やインターンシップは、教育効果が高く、どの学校でも積極的に取り組みたいと考えられています。しかし、受け入れ先の開拓や準備など、担当教員への負担が大きいのが現状です。

・そこで、上野原市で活動する「鄙（ひな）の会」では、地域共生委員会の「未来人材育成事業」の一環として、4年前から中学生の職場体験を支援しています。

・この取組は、医療・看護・介護系を中心に始めましたが、現在では公的機関や民間企業など、幅広い職種での体験が可能となっています。

・鄙の会は、10年前に「まちづくりに貢献したい」という思いを持った有志によって設立された団体で、これまで『桃太郎委員会』『観光まちづくり委員会』『地域共生委員会』『ジオパーク準備委員会』など、地域の魅力向上に尽力されています。

・中学校の先生方からは、「鄙の会さんが職場体験を担当して下さることで、現場の負担が大幅に軽減され、とても助かっています。」「職場体験を終えた生徒が、夏休み明けに成長した姿を見せてくれるのは、鄙の会さんのおかげです。」といった感謝の声が多く寄せられています。

・また、鄙の会事務局の上條和弘さんは、「協力して下さる事業所が年々増えており本当にありがとうございます。また、参加した中学生から『将来この会社で働きたい!』という声を聞くこともあり、やってよかったと心から思います。これからも未来の上野原を支える人材の育成に力を注いでいきます。」と語っています。

「地域の子供は地域で育てる」——これは、地域教育の根幹をなす大切なスローガンです。鄙の会の皆様や地元の事業者の方々が、子供たちの教育の一端を担って下さることで、学校ではなかなか得られない貴重な経験を積むことができます。この取組は、今後の教育界にとって非常に参考になるものであり、より多くの方々に知っていただくことで、地域全体で子供を育てる雰囲気醸成につながります。そしてそれは、将来的な地域の活性化にも大いに寄与することが期待されます。



桜ヒルズ GC ではゴルフ体験と練習場の球拾い業務が行われました!



ありす薬局での職場体験の様子。薬(練習用)の調合も体験しました!



こども園にての保育体験の様子

Q&A. 子供の鋭い質問にドキッ!



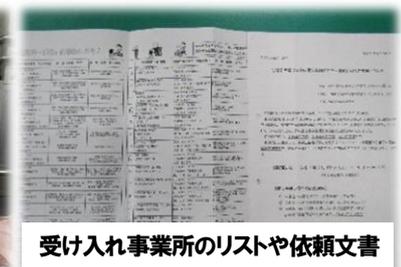
市立図書館での仕事体験の様子

接客も上手にこなせました!



秋山保育所での保育体験の様子

子供と一緒にミニトマトの収穫も!



キンセイ食品株式会社での職場体験

受け入れ事業所のリストや依頼文書も鄙の会が作成しています!